

### 施工前の注意事項

- ・施工前に安全上の注意をよくお読みのうえ、正しく取付けてください。
- ・注意事項は安全に関する重要な内容が記載されていますので、必ず守ってください。
- ・施工後は正常に動作することを確認してください。



……「注意」この指示を無視して誤った取扱をすると、障害または、物的損害が発生する可能性があります。



……このマークは、「接触禁止」の内容です。



……このマークは、してはいけない「禁止」の内容です。



……このマークは、必ず実行していただく「強制」の内容です。



……このマークは、「分解禁止」の内容です。

### ⚠ 取付に関する注意

	<p>施工・交換・移設は、必ず専門の配管工業者に依頼してください。誤った施工は、落下・漏水・カウンターの破損の原因となります。</p>	<p>感電のおそれがあります。ACアダプター付きモデルでは、必ずアース付きコンセントに接続してください。点検・清掃・修理の前には必ず電源プラグを抜いてください。</p>
	<p>この説明書に記載された項目以外は分解しないでください。破損や怪我、やけど、水漏れが発生するおそれがあります。</p>	

## 施工前の注意事項

- ・施工前に安全上の注意をよくお読みのうえ、正しく取付けてください。
- ・注意事項は安全に関する重要な内容が記載されていますので、必ず守ってください。
- ・施工後は正常に動作することを確認してください。



……「注意」この指示を無視して誤った取扱をすると、障害または、物的損害が発生する可能性があります。



……このマークは、してはいけない「禁止」の内容です。



……このマークは、「分解禁止」の内容です。



……このマークは、「接触禁止」の内容です。



……このマークは、必ず実行していただく「強制」の内容です。

### ⚠ 使用に関する注意

	器具に乗ったり、よりかかったりして無理な力を加えないでください。器具が破損し、怪我をしたり、漏水発生のおそれがあります。		長期間ご使用にならない場合は、誤作動を防ぐACアダプターをコンセントから抜いてください。
	首振り操作は乱暴に扱うと、故障や水漏れの原因となることがありますので、乱暴な首振り操作はしないでください。		電源プラグはコンセントに根元までしっかりと差し込んでください。 ※発火、ショート、感電の原因となります。
	水栓本体に直接水をかけないでください。故障の原因やキャビネット内へ水が浸入し、家財などを濡らすおそれがあります。		電源プラグについたホコリは取り除いてください。 ※火災の原因になります。
	他の箇所と同時使用すると圧力の変動が起こり、お湯の温度が急変する事がある為、やけどをするおそれがあります。		お湯をお使いになる際は必ずハンドルが水側の状態で開栓してください。湯側の状態で開栓すると高温の湯が出てやけどをするおそれがあります。
	化粧品（クレンジング剤、整髪料、ヘアカラー剤）などを水栓に付着させないでください。変色や破損のおそれがあります。		お湯を止める際は必ずハンドルを水側の状態に戻して閉めてください。次に使用する際、器具内に滞留した高温の湯が出てやけどをするおそれがあります。
	高温のお湯を使用の際は本体も高温になっておりますので、直接触れないでください。 やけどをするおそれがあります。		高温の湯をお使いの後は器具内に湯が残らないようにしばらく水を流してください。次に使用する際、器具内に滞留した高温の湯が出てやけどをするおそれがあります。
	感電の原因となりますので、電源プラグは濡れた手で触れないでください。		凍結が予想される場所を使用する際は、給水・給湯管の水抜き操作等を行い水栓内に水が残らないようにしてください。凍結破損で漏水するおそれがあります。
	電源コードを傷つけたり、無理に曲げたり、引っ張ったりしないでください。 ※発火、ショート、感電の原因となります。		ハンドル操作はゆっくり行ってください。急な吐水、止水は配管からの漏水の原因になるおそれがあります。
	電源コードやプラグが傷付いている場合は使用しないでください。 ※発火、ショート、感電の原因となります。		ご使用時には必ずハンドルの位置を確認してから吐水してください。高温の湯が出てやけどのおそれがあります。
	ACアダプターは交流100V(50/60Hz)以外では使用しないでください。 ※発火、ショート、感電の原因となります。		

必要工具および現場手配品



プラスドライバー

モンキーレンチ



ウエス

その他：  
カッターナイフ、メラミンスポンジ、プライヤー

<p><b>重要事項</b></p> <p>以下の基本的な電気の注意事項を守ってください。</p> <p>&lt;感電の危険があります。&gt;</p> <p>使用できる状態になる前に電源に接続しないでください。</p> <p>この水栓には逆流防止器が内蔵されています。取り外さないでください。</p> <p>【ACアダプターの場合】 ACアダプターは100V用です。必ず100Vコンセントでご使用ください。</p>	<p>製品の損傷の危険性があります。この製品には敏感な電子部品が含まれています。この製品の近くに、化学薬品やクリーニング製品の開いた容器を保管しないでください。</p> <p>電池ボックスに電池を入れる際は電池の向きを間違えないよう注意して取り付けてください。</p> <p><b>お知らせ</b></p> <p>説明で使用している図が、一部本製品の形状と異なります。</p>	<p><b>1 水栓本体の取付 (取付穴径Φ35~38)</b></p> <p>ベース(1)をパッキン側を下にして水栓本体(10)に取り付け、シンク上側からハンドルが右側になるように取付け穴に挿入します。</p> <p>ネジ(11)を取付けナット(4)に事前に取付けます。ホース(5,6,7)、ワイヤー(8)、シャックル(9)にシンクの下側から、ゴムワッシャー(2)、ワッシャー(3)、取付けナット(4)の順に差し込みます。</p> <p>ワッシャー面と固定ナットの間隙が5mm程度になるまで締め込みます。ネジが前と後ろになる向きに固定ナットの締め具合を調節し、ネジを締め込み固定します。</p>	
<p><b>2 給水/給湯の接続</b></p> <p>給水/給湯のホースを接続します。接続後は十分な洗管をしてください。</p>	<p><b>3 ブラケットの取付</b></p> <p>下図の範囲内で電磁弁のブラケット取付位置を決定し、付属のビス又は両面テープを使用しブラケットを固定してください。</p>	<p><b>4 電池の取付 (ACアダプターを使用しない場合)</b></p> <p>電池ホルダー(17)を電磁弁ボックス(13)から外します。電池ホルダーに電池を正しい向きに入れ、電磁弁ボックスへ戻します。</p> <p>※ACアダプターをご使用の場合は電池ホルダーには電池を入れないでください。故障の原因となる可能性があります。</p>	<p><b>5 バルブボックスの取付</b></p> <p>ホース(6)をバルブインレット(12)にねじ込みます。シャワーホース(7)をソケット(14)にカチッと音がするまで差し込みます。電磁弁ボックス(13)を取り付けられたブラケットにスライドさせ固定します。</p>
<p><b>6 配線の接続</b></p> <p>青色コネクターを電磁弁ボックスの青色ターミナルに接続します。青色コネクターに付いている白線がバルブボックスの前面を向いている状態になっている事を確認してください。※ACアダプターは必ず黒色ターミナルに接続してください。</p> <p>※ACアダプターを青色ターミナルへ接続して通電すると水栓の故障や漏水の原因となりますので通電前に再度接続の確認を行ってください。</p>	<p><b>7 ウェイトの取付</b></p> <p>シャワーホース(7)下端から50~75mm程度の位置にウェイト(15)をビス(16)を締めて仮固定します。</p> <p>ホースの動きがスムーズかどうかを確認し、ウェイトをしっかり固定します。</p>	<p><b>8 水漏れの確認</b></p>	
<p><b>9 マニュアルへの切換え</b></p> <p>停電時や電池切れの際は、バルブボックス横にあるマニュアル切換えつまみをコインやマイナスドライバーを使い、時計回りに回す事でセンサーをオフにし、手動に切換える事が出来ます。センサーをオンに戻す場合はつまみを反時計回りに回してください。※設置時につまみが反時計回り方向に回してある事を確認ください。</p> <p>マニュアル切換えつまみ</p>	<p><b>10 試運転</b></p> <p>設置後は必ず下記項目について動作確認を行ってください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>□ハンドル開閉で吐水・止水の操作が出来るか。</li> <li>□吐水している状態でセンサー一部に手をかざして吐水がとまるか。</li> <li>□再度センサー部に手をかざして吐水開始されるか。</li> <li>□連続吐水状態で4分間経過時に自動で吐水が止まるか。</li> </ul> <p>※上記項目が確認出来ない場合は別紙“K-77748Tトラブルシューティング”を確認してください。</p>	<p><b>11 お手入れ</b></p> <p>水の出が悪いなどの症状があるときは、各所のストレーナーを外して清掃します。</p>	